

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)7月25日 No.1097

## 目次

“ゴールドラッシュ”に沸くマガダン州.....	中居 孝文 1
マガダン州の概要.....	12
統計速報.....	13
キーパーソン.....	14
C I S 諸国通貨の最新為替レート.....	14

## “ゴールドラッシュ”に沸くマガダン州

—外資ブームの光と影—

### はじめに

筆者は今年6月5日から6月17日にかけてロシア極東ミッション(団長 宮崎恒信 当会専務理事)に同行し、マガダン州およびカムチャッカ州を訪問した。本稿では、現地でのヒアリング調査を踏まえて、ダイナミックな再編過程が進行つつあるマガダン州の採金業の現状について報告する。

### 1. マガダン州の採金業について

1930年代初め、悪名高い“ダリストロイ(1932~1956年)”の強制労働によってコリマ川流域で金の生産が開始されて以来、マガダン州は旧ソ連、ロシアの金および銀の生産において常に中心的な位置を占めてきた。マガダン州(チュコトカ自治管区を含む)では1992年までの60年間に合計で3,218 tの金が生産され、これは20世紀以降、世界で生産された金の3.8%、ソ連全体の28%に相当する。その他、銀の生産量は2,472 t、錫は9,400 tに達した([参考文献1])。第1表にみられるように、ソ連邦解体後も金の生産量は20~30 t(ロシア全体の17~21%)、銀は140~180 t(同約60%)を記録してきた。60年以上にわたる採掘にもかかわらず、マガダン州には埋蔵量100 t以上の世界的にも大規模な金鉱がいくつか確認されており、マガダン州を